

は し が き

本研究所は、教育政策に関する総合的な国立の研究機関として、初等中等教育から高等教育、生涯学習、文教施設までの各般にわたって教育政策の形成に資する調査研究を行っている。具体的には、新たな政策の立案に示唆を与える先行的な研究の実施や、これまで行われてきた個別の施策の検証を通じて教育政策に寄与することを目指している。

現在、内閣の最重要課題の一つとして教育改革の取組が進められているところであり、こうした改革が実効あるものとして適切に進められるために、関連する調査研究の充実がますます重要となっている。

このような中、本研究所においては、教育政策の動向等を踏まえた総合的な調査研究を進めるとともに、個々の所員がそれぞれの問題意識にしたがった研究も実施している。この紀要は、研究所としての調査研究の成果と個々の所員による研究の成果をとりまとめて公表することにより、我が国の教育研究の発展に寄与することを目的とするものである。

今回の紀要では、平成 26 年 11 月の「持続可能な開発のための教育（E S D）に関するユネスコ世界会議」の我が国での開催を控え、「E S D の国際的な潮流」を特集とするとともに、所員及び研究補助者等の研究成果を集録した。

関係各位の忌憚のないご批評を賜りたい。

平成 25 年 3 月

国立教育政策研究所長

尾 崎 春 樹